



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AJ-20001C

エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

鉄で未来を 未来の鉄を

Yamato

ヤマトスチール株式会社

YAMATO STEEL Co., Ltd.

H形鋼・H形鋼ぐい
(H-Beams / Steel H piles)



算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）

および間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：本社（姫路工場）

主な規格：SS400,SS490,SM400A.B.C,SM490A.B.C,
SM490YA.YB,SM520B,SN400A.B.C,SN490B.C,
SMA400AW.BW.CW,SMA400AP.BP.CP,
SMA490AW.BW.CW,SMA490AP.BP.CP,
SHK400,SHK490M

主な断面・板厚（単位mm,t=板厚）

H形鋼：H150(t7)×B150(t10)～H912(t18)×B302(t34)

H形鋼ぐい：H200(t8)×B200(t12)～H400(t13)×B400(t21)

問い合わせ先

ヤマトスチール株式会社

安全環境管理部 環境管理課

TEL：079-273-0715

<http://www.yamatokogyo.co.jp/steel/>

| | |
|---------|-------------------|
| 登録番号 | JR-AJ-20001C |
| 適用PCR番号 | PA-180000-AJ-03 |
| PCR名 | 建設用鉄鋼製品（中間財）【第3版】 |
| 公開日 | 2020年8月23日 |
| 検証合格日 | 2020年7月31日 |
| 検証方式 | 個品別検証方式 |
| 検証番号 | JV-AJ-20001 |
| 検証有効期間 | 2025年7月30日 |

PCRLレビューの実施

認定日等 2019年10月1日

委員長 松野 泰也

(千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 淵上 智子

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AJ-20001C



①CFP算定結果

算定単位 1t

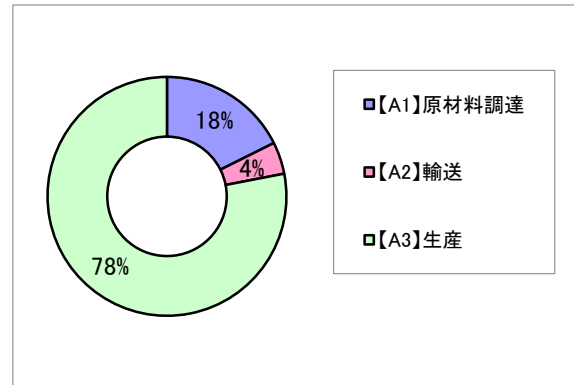
| 項目 | | 数値 | 単位 |
|-------------------|----------------------|------------|----------------------------|
| CFP算定結果 | | 570 | kg-CO₂eq |
| 内訳 | 【A1】原材料調達 | 100 | kg-CO ₂ eq |
| | 【A2】輸送 | 25 | kg-CO ₂ eq |
| | 【A3】生産 | 440 | kg-CO ₂ eq |
| | 【D】間接影響 鉄鋼製品のリサイクル効果 | 250 | kg-CO ₂ eq |
| CFPマークへの表示 | | 570 | kg-CO₂eq |
| 表示単位： | | 1t | |

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

- ・ISO14001認定工場生産している。
- ・医療廃棄物処理業の許可を受けた工場生産している。

②算定結果に関する追加情報



- ①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。リサイクル効果は、製品生産サイトへのスクラップ投入に伴う負荷及び使用済み鉄鋼製品のスクラップ回収に伴うクレジット(控除)の合計で計算される。計算に使用したリサイクル率は93.1%(計算はJIS Q 20915に従い、2014年度の国内データ(出典:日本鉄鋼連盟、スチール 缶リサイクル協会)を使用)
- ②輸送シナリオはPCRに従った。

④CFP算定結果の解釈

本評価では、【A3】生産段階での温室効果ガス排出量が8割程度と支配的な寄与度となりました。【A3】生産段階では、電気炉で消費する電力、圧延工程で消費する電力および都市ガスの燃焼が主要な排出源でした。次いで寄与度の大きい段階は【A1】原材料調達段階でした。【A1】原材料調達段階では副原料の生産が主要な排出源でした。

ただし、原材料やエネルギーの投入量については自社のデータを使用していますが、原材料の製造加工負荷やエネルギーの生産時の負荷についてはデータベース等の一般的な値を使用しており、原材料調達輸送にはPCR記載シナリオを用いるなど、当製品固有の特徴を反映していない可能性があります。そのため、この結果は概算値であることをご理解ください。

⑤使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。鉄スクラップのデータに関しては、日本鉄鋼連盟のデータを用いた。

⑥備考

-

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。